

令和5年度学校評価(保護者アンケート)

美瑛町立美瑛中学校
学校だより

令和6年1月号

新年に祈る

学校便りの1月号は、「新年に想（思）う」というテーマで綴ってまいりました。1年の計は元旦にありという意味からも、今年をどんな気持ちで過ごすのかを私なりに現在の心境や今年1年の覚悟を書いてきましたつもりです。

令和6年1月1日。予想もしなかった災害にみんなも目を疑ったことでしょう。テレビからはアナウンサーの悲痛なほどの叫び声「逃げてください」が連呼されていました。無惨にも一階部分が押しつぶされた家屋、でこぼこの道路、津波被害、焼けこげた柱…日々を追うに連れて、その災害の悲惨さに絶句するしかありませんでした。久しぶりの帰省、楽しかったはずの令和6年のお正月がまさに跡形もなく崩れました。一方、地震の翌日には、羽田空港にて、大きな事故もありました。海上保安庁の飛行機と民間機が滑走路上で激突し、海上保安庁の方が犠牲になりました。一見地震とは無縁に思えた事故ですが、聞くところによると、海上保安庁の機体は混雑をなるべく避けて運行していたようですが、能登半島沖地震で被災した方に一刻も早く救援物資を届けようとしていたと聞きました。地震がなければ、この事故もなかつたかもしれません。

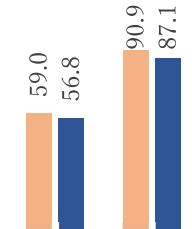
災害は時と場を選ばない。まさにその通りだと痛感しました。思わず、普段準備している避難バッグを数年ぶりに確認しました。今、十勝岳が噴火したらどうするか、自分や家族をはじめ、生徒のこと、教職員のこと、学校のこと…・思いを巡らせました。十勝岳の噴火に限らず、平成30年の胆振東部地震ではブラックアウトにより、電化製品はおろか大切な情報源である通信機器が使えなくなりました。Jアラートもいつ発出されるか予断を許しません。今一度、不測の事態に備える必要性を感じる令和6年のスタートとなりました。

この度の地震により、尊い人命が失われたことに改めて哀悼の意を表します。また、多くの方が今なお避難されており、救助活動や支援をされている方への労いも含めて、一日も早い復旧を祈ります。

【保護者の皆様へ】

令和6年がスタートしました。1年間の締めくくりとしての3学期をこれまで以上に、生徒を主役として、教職員一丸となってサポートします。同時に、4月からの令和6年度のスタートに向けて、保護者の皆様のご理解を得ながら、教育活動の充実に尽力したいと思います。さしあたって、2月13日の参観日には、全体懇談を設定します。お忙しいとは存じますが、より多くの方の参加をお待ちしております。

上段：中間評価
下段：期末評価



お子さんは、楽しそうに学校に通っている。

お子さんは、家庭で学習する習慣が身に付いている。
お子さんは、命の尊さや人の接し方、社会のルールについて身に付いている。

いくつかの項目で、中間評価よりもポイントが下降しており、改善に向けた具体的な手立てを検討します。特に「学習習慣」につきましては、年々ポイントが低くなっています。意識の向上や授業とのつながりをさらに重視していきたいと思います。

一方、「生徒理解」「進路」については、ポイントの上昇が見られました。引き続き、生徒達の思いに寄り添い、ともに考えていく姿勢を大切に、教育活動を進めてまいりたいと思っています。

今年度も、多くの保護者の皆様からご回答をいただきました。引き続き、本校に対するご理解とご協力をお願い申し上げます。

全国体力・運動能力調査の結果について

2学年を対象として、4月～6月に実施した表記調査の結果が届きました。9種目のうち、男子は6種目（握力、上体起こし、反復横跳び、シャトルラン、立ち幅跳び、ハンドボール投げ）で、女子も6種目（握力、上体起こし、長座体前屈、反復横跳び、立ち幅跳び、ハンドボール投げ）で全国の平均を上回りました。更に、合計得点においても全国の平均を上回りました。また男女とも「体を動かすのが好きだ」という回答が多く、主体的に運動する下地ができていることがわかりました。各個人の結果シートを、保健体育の時間に配布しますので、お子様の結果を確認していただければと思います。

吹奏楽部「ソロ・アンサンブルコンテスト」出場

吹奏楽部が1月13日に開催されたソロ・アンサンブルのコンテストで、テナーサックスの独奏と管打ハーモニカのアンサンブルに出場しました。結果はどうちらも銀賞となりましたが、出場した部員たちは旭川市民文化会館に素敵なサウンドを響かせ、見事な演奏を披露していました。